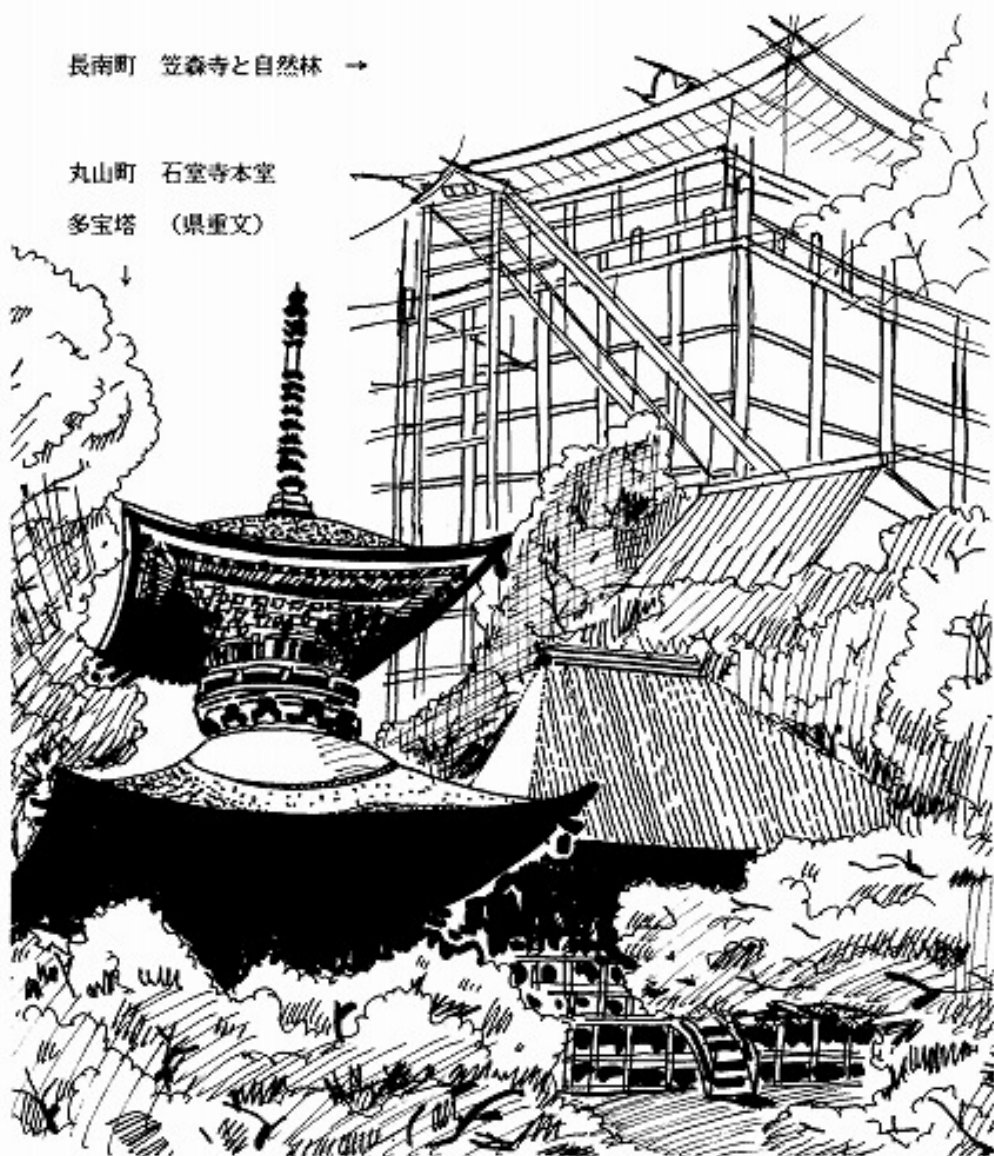


多賀工業会千葉県支部会報

第5号

長南町 笠森寺と自然林 →

丸山町 石堂寺本堂
多宝塔 (県重文)



第18回総会の御案内 議事p11-12 その他編集後記

“有言不実行” 支部長 山田泰雄（19機械）

会員の皆様お元気ですか。会報第5号をお届けいたします。今回は自身の反省をこめて書いてみました。大分遠くなった大正生まれの私どもの年代は子供の頃に不言実行とか“沈黙は金・雄弁は銀”等と言論よりも専ら実行をと、教えられたものです。

知っている事はすぐ実行すべき事であり、言挙げや宣伝はしないで、良い事をしていさえすれば、誰か必ず見ていてくれて報いられると言う次第でそのなかには儒教の教えるところが、バックボンになっているかと考えますが、ここではごく簡単に考えているところを述べてみます。

この不言実行と、表題に掲げた有言不実行とを考え合わせて頂くと、すぐに関連して言葉の組み合わせから有言実行や不言不実行と言う言葉がでてきます。

この有言実行・有言不実行・不言実行・不言不実行の四つの言葉はそれぞれ言葉として成り立つし、それぞれの意味があると考えられます。ここでそれぞれの言葉のもつ意味とその解釈を考えどのような場合にどの言葉を使用するかを考えてみたいと思います。

冒頭に申しましたように、昔は不言実行が好まれ美德とされて来たのですが、この頃の考え方はどんなものでしょうか。現在の社会情勢から考えますと、どうやら有言実行が最高であるとの評価が多いのではないかと思います。各自それぞれ自分の考えを速断することなくはっきり明言してそれを逐次実行に移していくのが正々堂々としていて最善の処し方と考えられ受人されるのではないかと思います。不言実行では傍で見ていても何をしたいのかもはっきりしないし、少しネクラなのではないかなと、この頃の人は感ずるのではないかと思います。この点、表題に掲げた有言不実行は実行しなくても良いから喋りなさいと解釈しますと非常に気楽になりますし、それならと喋る人も出るかと思います。すると喋った人以外にも、成程そんな考え方もあるのかな、と喋りだし他の人にも影響を与える事もあるでしょう。矢張り良い考えは一人でしまっておくことではないのです。まず話をしてみて他の人の意見を聞いてみるだけでも良い事ではないでしょうか。有言不実行でよいのだ実行しなくても言いさえすればそれだけでいいのだ、と心得ながらも、大勢の人がそれぞれ、口に出して仕事は、分担は、かくあるべきと

議論していると、始めは単なる議論の上の事であるにせよ、矢張り、自分の口から出た言葉に囚われたり、また左右されて、自分で言ったように実行する事となるでしょう。つまり結果的には有言実行になるわけで、これを始めから有言実行と唱えていては大勢のかたがたはかえって萎縮して良い結果が得られないのではなかろうかと思えます。

【異業種懇談会】で感じた事をかいてみました。



アウト・ドア

渡部 昭夫（41化工）

昨年末、多賀工業会のゴルフコンペに参加した。ある先輩が夫婦でゴルフをすると家内に勝てないことがある。と言っていた。腕前の方は別にしても青空の下で二人でゴルフが楽しめるとは、考えただけでも羨ましい限りである。小生十年程前よりキャンピングを始め今では年間予定の最大行事となっている。昨年は、3月からスタートして11月迄に8回（延べ23日）野外で生活したことになる。初めは小さなドームテントと安物コッヘルをもって奥多摩へ行きままごと遊びにも思えたが、天候も良かったこともあって美しい自然環境に一度でほれ込んでしまった。それ以来キャンプへ行くことは別世界を求めるようなもので計画をたてることも楽しみの一つであり、例え天候が悪くとも、それなりに楽しめるものである。回を重ねるに従い楽しみ方も変わるが何事も自由に好きなように出来ることが、人をひきつける原因かも知れない。

昨年ドイツ・オランダのキャンプ場を訪ね綺麗に整備されているのに感心したが、変化に富んだ自然環境は日本の方がすばらしい。しかし日本はあまりキャンプ場が普及していないのでシーズンにはいと混雑し又目的地に行くまでに交通渋滞にあたりすると楽しむどころではない。最近はより良い装備が欲しくなり、又それらを運ぶための車にも欲がでると、果たして本来の楽しみに添ったものかどうかが悩むことしきり。

でも年老いてでも出来ることを考えると是非人に勧めたい1種のスポーツである。

第3回船橋市文学賞受賞作品

「鮮烈の虹」

羽子板の裏絵に羽子の跡いくつ	蟬の穴より大蟻の出で来たる
連向のみごとなる空つくりけり	登山電車あえぎつつ天開きけり
糸つたふ生命張りつめ紙菫(カハ利)	富士霽(ハ) るるよりどよめきの夏帽子
御神火の地鳴りつづける藪椿	凌霄花(クモカ) 落つるに双手さしのべぬ
蛸籠のいのちを揺って確かめし	あえかなる雉子がかわれている酷暑
軽兜(加)の子に水輪のえくぼ生まれけり	句碑裏に藁(ヒキ)の逃げ込む日の盛り
新生姜買ふ朝市に銭鳴らし	土用波の頂点の日の溺れけり
鯉刺を見し次の歩を踏み違(カ)ふ	昨夜(ヨ) 踊りあし娘と見えて隣席
舟縁を叩く糊匠の気迫見し	流燈のずいと瀬に入る迅さかな
竹串を反らせ香魚の打たれけり	虫の夜の径(ミチ)海鳴りへ続きけり
青雫抛げ少年の日もありき	佛心の育ちからたち実となれり
菫の桶傾(カ)ぐあたり日の寄りて	定年後背骨きりりと冬の街
後頭部にかすかな疼き曼珠沙華	河豚刺しのほのかな紅をすくいけり
一病を籠と亨けたる秋思かな	氷柱(ツラ) 食むとき鮮烈の虹見たり
秋の蚊を打ち裏側を見透かさる	
散紅葉足裏(アソ)にあつき血のほてり	

編集者記 越塚要夫氏は千葉県支部会報2号より俳句を毎回投稿され、会員の趣味向上に格段の示唆を与えられてきた。非常に格調が高く編集者は屢々理解に苦しむことが多く一言一句に誤りのないよう神経を使った。幸い氏の寛大な対応で叱責を受けることもなく今日に至っている。「鮮烈の虹」は俳句部門において船橋市文学賞を受賞しました作品で、その全文を拝見できることは光栄だと存じます。俳句の楽しさは深く広く永遠の希求であります。ご一緒に挑戦しませんかと謙虚に申されております。氏の今後の御活躍と精進を期待したいと存じます。総会日に講演をお願い致しました。

昭和の辰年

副支部長 税所 裕（28金）

三年前遷曆を迎え同年生で盃を上げたとき、我々が育った背景は如何なものであったのか、尋常ではなさそうだと振り返ってみた。以下は辰年を中心とした出来事の回想である
昭和3年戊辰・1928年 出生。 裕仁天皇即位の大典・三一五事件・張作霖爆殺・織田幹雄日本初の五輪金メダル。

昭和4～14年の出来事。 満州事変・満州国建設・五一五事件・国際連盟脱退・二二六事件・支那事変・南京陥落・第二次世界大戦。

昭和15年庚辰・1940年 小学校6年生。 紀元二千六百年式典・日独伊三国同盟・北部仏印進駐・ドイツ軍バリ入場。

昭和16～26年 大東亜戦争・原爆投下・無条件降伏・進駐軍占領・農地改革・新憲法・朝鮮戦争・対日講和条約・日米安保条約締結。

昭和27年壬辰・1952年 大学4年。 占領時代終る・皇居前血のメーデー・火災瓶登場・英軍スエズ運河封鎖・李ライン設定。

昭和28～38年・スターリン死去・日ソ国交回復・国際連合加入・60年安保反対闘争

昭和39年甲辰・1964年ニッケイアルミ（株）。東海道新幹線・リベック東京大会・

昭和40～50年・ ベトナム戦争・月面着陸・沖縄復帰・日中国交正常化・赤軍・オイル危機。

昭和51年丙辰・1976年 日本軽金属（株）。ロッキード事件・田中元首相逮捕・ミグ25函館空港へ亡命強行着陸・周恩来・毛沢東死去。

昭和52～62年・低成長期・アフガン戦争・イランイラク戦争・米国株式市場大暴落

昭和63年戊辰・1988年 遷曆。新日軽（株）。

リクルート事件・税制改革関連法・アジア二回目のソウル五輪・天皇病み昭和終わる。

次ぎの西暦二千年は20世紀締括りの年。尚、歴史を反転させれば昭和3年の60年前は明治元年・戊辰戦争・王政復古・明治天皇即位の大典の年である。更に講緯（シイ）の説で歴史の一巡を表す一部（杓）即ち60年を21回重ねた1260年前は668年中大兄皇子が正式に即位して天智天皇となり、近江令を制定した年と云う。

茨城 1 号

小河 孝 (25 原)

飽食の時代を迎えて、近年はあまり聞かれなくなったが、昭和 22 年から多賀の 3 年間「茨城 1 号」は大変お世話になった懐かしい言葉である。

当時は戦後の食糧難が続いており、遠く故郷を離れての吼洋寮生活は、空き腹対策にのみ終始した思い出が多い。昭和 23 年 1 学期の期末試験は、7 月の初めより行われるスケジュールが発表になって、空き腹を抱えて受験準備が進められていたが、突然夏休み後に延期と発表された。理由は、寮の米が不足して試験期間中寮生に満足な食事が提供出来ないとの事で、緊急学生大会が開かれた。寮の炊事委員長がこの事情を説明して、学生の総意として学校に延期を申し入れ、学校当局も認めざるを得なかった。米不足で繰上げて夏休みに入ると言う食糧事情であった。寮における朝夕の食事は、炊事委員の打ち鳴らす太鼓の合図で、先ず第 1 に各部屋の食事当番が食堂に飛び込んで、汁の突の多そうな桶を確保してから、部屋の寮生の到着を待つて分配するのだが、当番の腕が悪いと澄まし汁に蕎麦の代用食で空腹を満たさなければならなかった。その蕎麦も今では、動物の餌にでもするしかないゴツゴツとして大きな拳骨のような水っぽい、さつま蕎麦「茨城 1 号」(俗称イバイチ)だが貴重な食糧であった。砂利道の国道 6 号を朴樹の高下駄を引きずりながら、峠の茶屋で蒸し蕎麦を買っては空腹を満たして、日立のダンスホールや映画館に通ったのも、青春の懐かしい思い出ある。野球部の合宿では、食糧の思い出が練習より大事な仕事であった。「茨城 1 号」で腹を満たし、後にプロ野球でも活躍した T 選手を離して高専の県大会で優勝して、横浜での関東大会に駒を進めたのも青春の一ページであった。今では中年ぶとり(高年かな)の出っ張った腹を気にしながら野球部に居た機械科の I、精密機械の Y、金属の N と 4 名で、数年前から春・秋年 2 回 2 日コースで旧交を温めている。1 日目はドライブして宿に入り、夜半まで麻雀で指先のトレーニングをし、翌日はゴルフと 2 種競技で舌戦を展開して青春を取り戻している。テラ銭およびチョコレート代はプールして、帰り道で懇談してからお土産代に提供される。秋には水戸周辺が選ばれることが多いせいか、お土産も水戸の納豆や勝田付近の乾燥芋が選ばれるが、茨城のさつま蕎麦は、40 年前を思いだし懐かしい味である。

建設業の中の機械屋からの一言

時岡 誠剛（45院機）（株）熊谷組建築生産技術部

昭和45年、熊谷組という建設会社に入って18年がたちました。

建設機械の設計から始まり、建築設備部、原子力開発室を経て、現在建築生産技術部に所属しています。従来、建設会社においては、その職種柄から建築が主、機械が従、といった既成概念みたいなものがあり、たとえば、建築屋が全体計画を立て、その計画・仕様にもとづいた機器類を機械屋が開発する、といったスタイルが主となっています。しかし、ここ十年ほど前から、特に建設労働者の絶対数の不足、若年労働者の建設業離れさらには労働集約型の生産体系などに起因した低い労働生産性が大きな問題として取り上げられ大手の建設会社を中心に生産性の向上をめざした合理化自動化が模索され始めました。

まず、建設現場への自動化、高度化機器類の導入や情報化技術の活用必要性を把握しました。しかし、当初は、短期的に成果を出そうとするあせりもあり、とにかく、何でも良いからとにかくロボットを開発して現場へ適用しようと試みました。その結果、なんとか使えるロボットにはなったもののその反面、多くの問題点が出てきました。

それは、ロボットの開発時点において前後の工程まで十分に考慮に入れなかったことや、都合の良いところだけをロボットにやらせたなど、といったことから生じたものが主なものであったと思われます。たしかに、上の様な問題を解決することによって有用なロボットとすることは出来ませんが、今行われている仕事そのままを人間の代わりにロボットにやらそうとしてゆくと、沢山ある建築工種全体に、数十という種類のロボットが必要になり、大きな合理化にはつながりにくいのではないかという疑問が持ち上がりました。この背景から、最近では、先ず、根本的に自動化を前提とした施工方法を考えて（設計段階まで踏み込んで）ロボット、情報化機器類を活用する必要がある・・・という考え方が生まれてきました。この様な目標を設定して、建設生産方法（自動化建設工法）を検討してゆく場合、先に述べたような、建築が主、機械が従といった体制では不十分であり、機械、建築が同一の立場で検討していった初めて、効果的な生産方法が

構築できる。当社では、最近、この様な思想のもとに、建築屋、機械屋（電気屋が入れば、尚ベター）の混成グループを作り、自動化を前提とした建設工法の研究開発にとりかかっている。今、当社はこの様な将来を見据えた新しい合理化工法に着手して、いますので志ある後輩がチャレンジしてくれることを期待しています。今回は少々硬いことを書いてしまいましたが、また機会がありましたらサラリーマンのアフターファイブのことやら入社19年目の酒の飲み方・・・など書いてみたいと思います。



水戸徳川家の初代藩主

三幣 正人（24歳）

永享の乱（1438）の頃から関東は戦国的様相を呈し、秀吉が小田原城を陥落させた天文18年（1590）で、一応幕を閉じることになる。小田原城は、伊勢新九郎長氏・（北条早雲）が、明応4年（1495）大森頼春以後五代約80年間続いた大森藤頼を追って小田原城主として君臨した。当時の城といっても居館程度の小規模のもので早雲・氏綱・氏康・氏政・氏直の後北条氏は五代96年間のあいだ城郭の改修を重ね栄華を誇り関八洲を治め、城の規模は後の江戸・大阪城に匹敵するわが国一の平山城を完成させた。そのため上杉謙信や武田信玄のたび重なる攻撃にも落城することはなかった。

天下統一を目指す豊臣秀吉の、水陸十五万の大軍を迎えて百日余りに及ぶ籠城戦で応戦したが、内応者もでて天文18年（1590）7月13日秀吉小田原城に入場して後北条は滅亡、戦後の処分を行い関八洲は、徳川家康に与え居城を江戸城と定めた。同時に、落城前、秀吉はその臣浅野長吉・木村常陸介重玄を、家康の武将本多忠勝・鳥居元忠・酒井忠次・平岩信古等に命じ北条方に属する諸将の本城を疾風の如く攻略した諸領を、主だった家臣に分封した。房総の里見義康は参陣に遅参したかどで上総・下総の地を、奪われ安房一国9万2千石を与えられ家康に属することになった。

家康は8月1日江戸城に入り関八洲の領地を15日に家臣の諸将に各地を与えた。

『房総治乱記』による房総各地の分封の主たるものを列举してみる。

上総国大多喜		本多中務大輔忠勝	10万石
同 庁南	長崎	本多佐渡守正信	1万石
同 勝浦		植村土佐守泰忠	3千石
同小井戸	小糸	本多作左衛門重次	3千石
同 五井		松平紀伊守家信	5千石
同 裳原	茂原	大久保治右衛門忠佐	5千石
同 佐貫		内藤弥次右衛門家長	2万石
同 鳴戸	成東	石川左衛門大夫康道	2万石
同久留里		大須賀五郎左衛門康高	3万石
同 矢作		鳥居彦右衛門元忠	4万石
下総国 古河		小笠原信濃守秀政	2万石
同 関宿		松平三郎太郎康元	4万石
同関宿内		岡部次郎右衛門長盛	1万2千石
同 佐倉		三浦監物義次	1万石
同佐倉内		本多縫殿助康俊	
同佐倉内		久熊三郎左衛門宗能	1万3千石
同佐倉内		山本帯刀頼重	
同 多賀	多古	保科基四郎正光	1万石
同 相馬		菅沼山城守定政	1万石
同 葦戸	瀬戸	木曾千三郎義就	1万石
同 生実	小弓	西郷孫九郎家員	5千石
同 小南		松平三郎四郎定勝	3千石
同 飯沼		松平外記伊昌	2千石

家康は、太井川（現在の江戸川）沿いには天領としたり、旗本の所領として厳重な態勢を敷き、河川の改修・整備に傾注した。

川に橋をつくることを禁じたから農民は農作業のため渡し舟で往来した。【矢切の渡し】

はその著明な渡しの一つである。何故徳川がこのような警戒態勢をとったのかについては東北地方、特に伊達藩の去就を警戒したのではなかろうかと言う。

上記『房総治乱記』は下総国関宿に松平康元を、配したとあるが、これは家康の異父弟で久松康元のことである。それ以外には譜代の家人岡部長盛を山崎藩主（野田市）として1万2千石を与え天正18年から慶長14年（1609）迄20年間配置したのち丹波亀山に3万2千石の大名として移封している。

更に、ここで述べなければならないのは武田信吉のことである。

下総小金大谷口城（松戸市）は、高城氏の居城で、高城胤吉の築城したものである。天文7年（1538）小弓公方足利義明が、国府台で北条氏とたたかって敗北してから高城氏は千葉氏とともに後北条に服属した。永禄7年（1564）1月の第2次国府台合戦のときは後北条に加勢した。小田原城攻撃の時は主力が小田原に参戦している間に小金大谷口城は攻撃され天正18年に落城した。その小金大谷口城主として家康は5男の武田信吉を三万石の城主として配置した。〔天正16年・穴山信吉（梅雪）の嫡子・勝千代の没後を継いで武田氏を称す〕僅か8歳であったが穴山氏の旧臣を付けさせた。
※ 穴山氏の戦法は、オランダ製の鉄砲を駆使した戦術が得意だったという。

文禄元年（1592）下総佐倉十萬石に移封され、関ヶ原の役には江戸城の留守居役であった。

水戸藩は、佐竹義宣が54万5千700石を有し天正19年から慶長7年まで藩主とし支配していたが、家康が右大臣に任じられ、征夷大将軍に補せられ秀吉の子秀頼と立場を逆転した年出羽秋田に移し、武田信吉を水戸25万石城主として移封する。

水戸徳川家の初代藩主はこの武田信吉ではないかと考えている。

水戸徳川家の藩主の廟は常陸太田市瑞龍山にあるが武田信吉も此処に埋葬されまつられている。信吉は着任の翌年病死している（天正11年-1583年出生・慶長8年-1603没）

※ 御三家としての水戸家の初代は、頼房とされているが、水戸徳川家の初代藩主は、武田信吉と思う。尚、戦国時代の千葉県に関係する項は冗長過ぎる位に書いたのは地名やその他が現存し興味が湧く期待のためだ。引用した文献類は紙面の都合で削除した。

総会議事と報告事項

議案1 平成2年度事業報告並びに収支決算承認の件

総会 平成2年6月3日 幕張メッセ

幹事会 合計8回

本部理事会 出席者 山田支部長 三幣幹事長 税所副支部長

他支部交流 東京・水戸勝田支部 山田支部長

いわき・静岡支部 三幣幹事長

会報第4号発行 平成2年10月

第2回 ゴルフ・コンペ 平成2年12月10日 参加人員 12名

千葉スプリングスカントリークラブ

第1回異業種懇談会 平成2年12月1日

紙上参加者を含み 参加人員 20名

収支決算 (平成2年3月1日～平成3年2月28日)

収入の部		摘要	支出の部		摘要
前年度繰越金	434,980		総会費	285,519	
本部助成金	80,000		交流費	66,520	
他支部総会費	16,000		通信連絡費	257,567	
総会会費	224,000	8,000×28	会議費	77,335	
広告収入	95,000	5,000×19	雑費	46,427	
年会費	512,000	2,000×256	印刷費	251,938	
寄付賛助金	10,000		小計	985,306	
雑収入	2,365	利子	余剰金	389,039	
合計	1,374,345		合計	1,374,345	

平成3年2月28日 会計監査 大久保 勝純  会計監査 稲葉 信彦 

余剰金389,039円の内300,000円を基本金として別途積立とする。

議案2・平成3年度事業計画並びに平成3年度予算案

- 総会 平成3年6月23日 フローラ西船 [旧玉姫殿]
 幹事会 連絡の必要時
 本部理事会 平成3年6月1日 東条会館
 他支部交流 招待状を戴いた時に三役で審議・決定する。
 会報第5号発行 会報第6号発行(予定)
 第3回 ゴルフ・コンペ
 第2回異業種懇談会
 都内観光バス旅行
 第1回 俳句会 方法・段取は、塚越としを氏と相談
 三役で審議・決定し後日連絡する。

平成3年度予算案(平成3年3月1日～平成4年2月28日)案 支部長 山田泰雄

収 入 の 部		摘 要	支 出 の 部		摘 要
前年度繰越	89,039		総 会 費	280,000	
本部助成金	150,000		交 流 費	65,000	
他支部会費	24,000	8,000 3支部	通信連絡費	250,000	
総会費用	280,000	8,000×35	会 議 費	70,000	
広告収入	100,000	5,000×20	雑 費	30,000	
年会費	500,000	2,000×250	印 刷 費	300,000	
雑収入	3,000		予 備 費	151,039	
合 計	1,146,039		合 計	1,146,039	

議案3 任期にともなう役員改選の件

議案4 その他

メイン精密工業(株)
取締役事業部長 石島 勺 28金
VAへの提案
OA機器・航空機・繊維
機械関連部品その他・機械器具品
〒275 習志野市実根町4-1004-37
TEL 0472-72-7710

標申原コンサルタント
中小企業診断士 榊原 信行 24機
皆で考えようこれからの流通時代
〒276 八千代市八千代台北2-4-6
TEL 0474-82-3288

(株) 仙電工業
技術顧問 山田 泰雄 19機
世界にはばたく仙電のプレス
〒276 八千代市八千代台西3-2-23
TEL 0472-85-0078

(株) タガ
代表取締役 栗原 照夫 16金
あらゆる技術に対応出来るのが特徴です
〒107 東京都港区赤坂2-22-18
TEL 03-586-8980 福吉アネックス301

東洋鉄芯工業(株)
信和産業(株)
監査役 大久保 勝躬 23機
相談役 原田 正夫 16精
モーターコア・プレス下加工
〒133 都・江戸川区篠原2-266
TEL 03-670-1505
〒285 佐倉市大作1-649-1 佐倉第三
TEL 0434-98-1111 工業団地内
〒273-01 鎌ヶ谷市南初富3-13-50
TEL 0474-44-5896

(株) コミュニティ
代表取締役社長 大久保 勝躬 23機
取締役 原田 正夫 16精
総合ビジュネスコンサルティング
リスクマネジメント
損害保険全般取扱
TEL 0471-32-2827

大川音楽事務所
所長 大川 栄一 23機
特に、スペインやヨーロッパで
著名なピアニスト大川由美子氏の
演奏・公演とその他音楽企画全般
〒260 千葉市寒川町3-198
TEL 0472-61-2771

(株) 篠原機械製作所
代表取締役社長 藤岡 英智郎 33機
篠原のプレス各種
〒277 柏市布施新町2-18-7
TEL 0471-32-2827

(株) 小久保製作所
代表取締役 小久保 勇 19機
コクボ式液体自動充填機
各種はかり・計量機販売修理
〒273 船橋市海神5-8-24
TEL 0474-33-2578

地曳税務会計事務所
 税理士 地曳 一夫 17金
 〒271 松戸市20世紀ヶ丘萩町50
 TEL 0473-61-3310

松栄管財(株) 45金
 中台 重樹
 ダイヤ及び各種宝石
 貴金属、ネックレス類
 〒285 佐倉市白井645-17
 TEL 0434-87-8857

新日軽
 顧問 税所 裕 28金
 豊かな生活が新日軽のもの創りの
 願いです。
 〒276 八千代市八千代台南2-15-21
 TEL 0474-83-0605

島田製作所 20金
 島田 清
 世界平和の祈り
 世界の人類が平和でありますように
 祈りによる世界平和推進本部
 〒272 市川市平田1-17-8
 TEL 0473-24-1067

太陽鉄工(株) 20機
 顧問 鈴木 友生
 ローコスト・オートメーションに奉仕
 する太陽 エンジン・電磁弁
 空気圧保器 産業用ホット
 〒274 船橋市二宮2-43-7
 TEL 0474-66-3880

福井電機(株) 22機
 常務取締役 額賀 利厚
 電気・機械・諸設備のメンテナンス
 日立製品の販売
 〒260 千葉市問屋町16-3
 TEL 0472-41-6401

大久保税務会計事務所
 税理士 大久保 勝躬 23機
 〒272 市川市北方2-8-21
 TEL 0473-36-1662

株式会社 高屋 24機
 常務取締役 三幣 正人
 心豊かな真実の美を追及する女性は
 日本が生んだ【あるかん】ブランド
 のバックを愛用してます
 〒272 市川市菅野3-5-11
 TEL 0473-24-1067

岡安産業(株) 26金
 代表取締役 岡安 孝捷
 高圧ガス溶接材料
 ホイストクレーン工事
 〒272 市川市宮久保2-17-6
 TEL 0473-73-5894

日本空調工業(株) 26電
 代表取締役 飛田 良雄
 冷暖房工事
 給排水設備
 〒270 松戸市常盤平西窪町7-8
 TEL 0473-87-4606

新規千葉県支部会員御紹介 (敬称略)

機械工学科	大谷和弘	松浦慎治	森田洋二	工業短期大学部		
電気工学科	阿部 誠	保科 司	笠原康嗣	河野偉知郎	機械工学科	
金属工学科	馬場裕行				川口恵仁	佐久間洋和
工業化学科	森 享	瀬古眞義			大澤岳仁	
精密工学科	立石仁久	佐野慶則	歌代智也		電気工学科	
電子工学科	寺西浩之	永野成夫	岩瀬昌之		桜井正人	伊坂和也
情報工学科	有吉伸行	小林 修	柄本泰成	桜井裕介	工業化学科	永迫 誠
建設工学科	石倉 敬	舟川 勲				以上28名

年会費納入者氏名 (追加敬称略)

卒年度	氏 名	卒年度	氏 名		
16	吉田 俊 山中弘也	18	金田利徳		
19	柴 敏夫 高橋 実	39	高崎芳紘 中島 寛 近藤暁史		
20	横田正一 宮川澄夫	40	小林幸澄 川野辺健		
22	関 誠治 面高正敏 並木 靖	41	柴 勇	43	鈴木 徹
23	高橋博太 金沢孝一 一木 忠	51	戸村 寿	52	岩瀬幸男
	川上昭二 矢口三郎	54	坂田昭夫		
24	佐藤 達 三品吉弘	57	佐々木一美	60	鈴木瑞明
30	木戸田松吉	28	根本茂雄	63	佐藤敏哉 穴倉輝吉
32	穂坂邦光 永山 哲 檜山直孝	31	生井春夫	平成1	秋葉泰男 辰見正弘 安西俊一
	吉田破魔夫				鳥飼 誠 宇佐見直之
33	蒲井徳彦	平成2	飯島史教 石川 明 佐藤宏治		
34	幕内仁三 酒井森彦 根本行康		高橋栄次 内田英之		
35	織内 勲 岡村光真	36	坂本良彦	以上	61名 累計256名
37	森川義久 佐藤哲雄 小池健一				
38	高萩隆司 市村敬司 高木二郎				大変有難うございました。

編集後記

訃報 20機 木村 常彦氏が、平成2年8月10日御逝去されました。

衷心より哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

- 1: 総会場所 フローラ西船 [旧玉姫殿]
日時平成3年6月23日(日)午後1時より
交通機関 JR総武線・武蔵野線・京葉線
西船橋駅下車 徒歩 5分
京成西船下車 徒歩 10分
会費 10,000円 [平成3年度年会費2000円を含む]
 - 2: 総会后、今回 塚越としを氏に講演を依頼致しました。
 - 3: 平成二年度の年会費の徴収状況は、初回の平成元年度より微減しました。
役員一同は、平成三年度がその推移を確かめられる重要な年だと考えています。
支部の活動は、年会費で運営されますので皆様の一層の御理解を戴き協力をお願い致します。(なんだかN・H・Kのお願いに似てきて恐縮です)
 - 4: 昨年末に忘年会を開催しました。其の際[異業種懇談会]も実施致しました。この種会合は職種・職場が異なる同窓生と忌憚のない交換の機会をもちお互いに[知り得ないことを知り]何かに役立つことを目的にしようと、言うことですから1回や2回で済ませる問題はありません。当日出席された方や、榊原氏の意見を参考にし今後の対応を決めたいと考えています。
 - 5: 数多くの投稿をお待ちしております。どんな傾向のものでも歓迎いたします。
千葉県各地に居住する会員の郷土に関する「歴史・行事等」等の原稿もお待ちしております。
- ※ a: [芭蕉と鹿島紀行の一日で行かねばならなかった理由について次回にする約束をしましたが] 今回間に合いませんでした。お詫び致します。
b: 俳句に関しましては、同好会組織にするかどうかも現在未定です。
御意見をお聞かせ下さい。 文責 幹事長 三幣 正人